

2006年度第1回理事会議事録

期 日：2006年6月10日(土) 12:00～17:00

場 所：地質学会事務所

出席者：木村会長，佃副会長，渡部常務理事・天野副常務理事・上砂・Wallis・大友・狩野・
公文・高橋・久田・宮下・向山・倉本(各理事)，橋辺(事務局)

欠席理事：(議長委任)：伊藤副会長・中山・増田(各理事)

* 成立員数(11/17)に対し，出席14名，委任状3名で，理事会は成立。

報 告

1. 運営財政部会(部会長-上砂，中山，向山，大友)

総務委員会(委員長 上砂)

庶務関係(担当理事 上砂)

<共催・後援等関連>

- ・ 日本科学技術振興財団：青少年のための科学の祭典2006(2006年8月)後援依頼
例年どおり了承。
- ・ 第21回太平洋学術会議(共催)事務局(琉球大学)書類変更修正のため再提出につき，
会長印，押印。第14回「ゼオライト夏の学校」協賛，および「第22回ゼオライト
研究発表会」協賛の依頼 例年どおり了承。
- ・ 日本粘土学会「第50回粘土科学討論会」共催依頼 例年どおり了承。
- ・ 第43回アイソトープ・放射線研究発表会プログラムの送付
- ・ 第1回GUPI GEOFORUM 「国土と地質と観光と」(後援)終了報告
- ・ 横浜国大COEプログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」(共催)終了報告
- ・ 青少年のための科学の祭典2005(後援)終了報告

<賞の公募関連>

- ・ 財)尾瀬保護財団：第10回尾瀬賞の募集(4月1日から10月31日まで) HP, News
誌掲載
- ・ 女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」授賞式への招待 総会と重なり欠席
- ・ 日本学術振興会賞の募集(受付6月5日～9日)
- ・ 文部科学省研究振興局「科学技術賞および若手科学者賞」の推薦募集(7月14日締
切)

<挨拶状>

- ・ 土木学会役員交代：新会長 濱田政則ほか
- ・ 地盤工学会役員交代：新会長 龍岡文夫ほか
- ・ 新潟大学災害復興科学センター(旧，積雪地域災害研究センターの改組06/4/1)，
センター長 伊藤忠雄，副センター長 高浜信行
- ・ 石灰石鉱業協会役員交代：新会長 高橋三郎ほか
- ・ 日本温泉科学会会長新任挨拶：新会長 大山正雄
- ・ 日鉱金属(株)(旧，日鉱金属，日鉱マテリアルズ，日鉱金属加工の統合06/4/1)社長 岡
田昌徳ほか
- ・ 海洋研究開発機構理事および監事交代挨拶：新理事 平 朝彦ほか
- ・ 地質学会役員交代の挨拶状を関連学協会出すこととした。

<その他>

- ・ Map Asia 2006(8月29日～9月1日，Bangkok)の案内状
- ・ 電子図書館サービスの年次利用統計

- ・ 産業技術総合研究所と共同研契約を締結した(4月3日付け)。
研究題目:「地質科学分野におけるオンライン化の将来動向に関する研究」
契約期間:2007年3月31日までの1年間,ただし必要あるときは合意の上更新可
研究資金(学会負担分):1,299,500円
- <要回答,返信事項>
 - ・ 文部科学省科学技術政策研究所「科学技術の状況に係る総合的意識調査(定点調査)分野別調査」の回答候補者の推薦について(7月21日締切)
理事会で候補者を推薦した。
 - ・ 日本学術会議:科学者倫理への取り組みについて「科学者の行動規範(暫定版)」を策定,同規範等に関する調査,倫理綱領・行動規範の設置状況等に関するアンケート調査(6月30日締切)
法務委員会で作成し,松本倫理規定策定委員長名で返送予定。

会員関係(担当理事 中山)

- 1) 入会の承認
 - 正会員(3):岩崎毅史 久保篤規 高橋かつ江
 - 正会員割引(10):野崎達生 後藤 当 上田直人 濱村直弘 溝部かずみ 町 澄秋
上妻玲馨 富田 覚 宇佐見和子,伏木 治
 - 準会員(2):廣瀬祐市 峯村純子
- 2) 退会者(正 1):藤沢亜希子
- 3) 逝去者(名誉2,正2):小島丈児名誉会員(6/1),羽田 忍名誉会員(6/1),阿久津純正会員(5/4),川上 廣正会員(5/22)
逝去者への対応(連絡が間にあった場合)のとりきめ
弔電,献花(名誉会員),追悼記事
- 4) 5月末現在会員数
賛助34,名誉80,正4,386(内,院割202),学生27,合計4,527名
- 5) 追悼記事
棚井名誉会員(追悼記事:岡田尚武・三木昭夫) News誌掲載,氏家名誉会員(追悼記事:高柳洋吉)掲載準備中,最近の方については依頼準備中。
- 6) 会員関係の課題
 - ・ 学生会員の入会が少なくなっているのが問題であるが,2007年問題,すなわち団塊の世代が退職するに当たって,本会のかなりの部分を占める50代の会員の継続をいかに計るかが問題である。今後,対策案を会員委員会で検討し,理事会に提案する。
 - ・ 会員名簿について,個人情報保護法に関して会員に名簿を発行するに当たり名前,専門分野,住所,所属先,E-mailアドレス等を記載するか調査を行う必要がある。ニュース誌6月号~9月号までお知らせを載せ,2004年6月に実施した日本地質学会会員名簿作成アンケート調査を実施する。結果によっては,会員名簿の発行を延期する可能性もある。今後,理事会で審議していただきたい。
 - ・ アマチュア会員の可能性も検討する。

地球惑星科学連合(久田連絡委員)

- ・ 宮下由香里委員より,男女共同参画委員会設立準備会議事録(5月15日)
- ・ 評議会メンバーとして会長に代わり,伊藤副会長を登録した。
- ・ 次次期プログラム委員長候補者の件は,渡辺真人会員(産総研)の了承を得て推薦した。

学術会議関係報告(木村会長=連携会員)

- ・地球惑星科学委員会の分科会の使命：1) 当該分野の学問の推進のための提言作り，2) 当該研究者コミュニティーの連携の推進，3) 国際活動の円滑な遂行，促，4) 研究成果の社会還元，各部会は下記の会員，連携会員により構成．

地球惑星圏分科会：永原裕子(会員，委員長)，河野 長(会員)，大谷栄治，木村 学，久城育夫，西田篤弘，深尾良夫

地球人間圏分科会：岡部篤行(会員，委員長)，入倉孝次郎(会員)，今脇資郎，岡田尚武，住 明正，氷見山幸夫，森田 喬，山形俊男，竹内邦良

国際対応委員会：国際対応実務

会計関係(担当理事 向山)

- ・07年度支部補助金の配分方法は会員数に比例して行うこととし，各支部への支出予定額を決めた．
北海道支部：74,000円，東北支部：80,000円，関東支部：169,000円
中部支部：110,000円，近畿支部：94,000円，四国支部：71,000円，
西日本支部：102,000円
- ・会費の督促請求を近日中に出す予定(約1000人?)
- ・下仁田自然学校へ今井名誉会員の図書の本送費の支出について検討中．

広報委員会(担当理事 大友)

ニュース誌編集小委員会(担当理事 大友)

- ・キタック(株)編集の火山構造地質図を無料配布するとの宣伝をニュース誌に出すことを検討．
- ・地質学の最先端の記事など会員に興味の持てる記事を出すことなどを含め，年間計画を作る(EX:サイエンストピック)
- ・理事が率先して記事を書く．
- ・執筆者についても積極的に発掘する．
- ・表紙についても検討．

インターネット運営小委員会(担当理事-大友)

- ・HPの構造についても再検討する．
- ・セキュリティーについて検討する(オンライン委員会)
- ・竹島，魚釣り島などの調査報告など貴重な資料のアーカイブス化についても検討する．
- ・Island Arcの事務局へのリンクの追加を検討．

2. 学術研究部会(部会長-久田，公文，増田)

行事委員会(久田委員長)

- 1) 高知大会予告記事を News 誌 5月号に掲載，オンラインで参加登録と発表申し込みが開始された．
- 2) 高知の会場設備他について
 - ・エアコンのレンタルを検討中，予算との関係で引き続き検討する．
 - ・ポスター図案が完成(600部)．
- 3) 次回の年会開催について
 - ・地質関連学会が連合でやったらどうか(岩鉱学会，鉱物学会): 久田理事・木村会長が交渉する．場所は東北地方．
 - ・地質科学関連学協会連合にもこの件で話題を提供する．

3. 編集出版部会(部会長-狩野，久田，宮下，Wallis)

地質学雑誌編集委員会(委員長-狩野 副委員長-久田，宮下 = 企画担当)

- ・今月の編集状況は以下の通りです(6月9現在)．
112-6: 論説4・ノート1・口絵1. 校正中，(65p)

112-7月号：総説1・論説3・短報1・口絵1・入稿準備中

- ・本年度投稿論文数 50 編 [論説 32 (和文 29・欧文 3), 総説 3 (和文 3), ノート 2 (和文 2), 短報 11 (和文 11), 討論 2 (和文 2),] 口絵 4 (和文 3・欧文 1)
投稿数昨年比 +10 査読中 49 編
- ・特集号 2 件査読中：日高衝突帯研究の最近の進歩 -その深部過程と上昇過程(仮題)/紀伊半島における中新世火成作用とテクトニクス
- ・電子投稿・査読システム：5/14 に幕張メッセにて電子投稿・査読システムのデモを行った。参加者，狩野，久田，細川ほか委員数名，その他数名，J-STAGE 2 名。その結果を受けて，ダミー原稿を用いて，同システムの試行を開始した。
- ・委員の交代：坂島俊彦委員(企画部会応用地質専門部会)の辞任にともなう後任として柏木健司氏(富山大)に委員を依頼した。
- ・丸山会員に紫綬褒章受賞を記念して特別寄稿を依頼する。顔写真，紹介付きとする。
- ・サイテーションインデックスの導入について検討中。
- ・表紙のデザインの刷新について検討を開始する。

Island arc 編集委員会(担当理事 Wallis, 事務局長 竹内圭史・角替敏昭)

- ・vol. 14 の超過ページ負担金支払いについて，申し合わせ書を交換した。
地質学会より超過ページ負担金 985,600 万円を支払った。
- ・07 年から契約更新となるので，角替事務局が交渉中。
- ・5 学会に，恒常的な Editorial Advisory Board (現在は各学会長がはいっている) 推薦を依頼することを検討中。関連学会への紹介文が提示され，検討した。
- ・今年の Island Arc 3 号・4 号の編集計画について(報告)
- ・今後，ページ数を増やし(100 ページほど)，年 6 冊出版の方向で検討中。これに伴った負担増は，地質学会で担保できるか今後検討することとした。
- ・会員の論文投稿数を増加させる必要がある。今後，その方策について検討する。

企画出版委員会(担当理事 高橋)

- ・現在出版中の地質学会出版物，「日本地方地質誌」に準拠した英文巡検案内書出版に関する提案について(Wallis 理事，中部支部報告) 審議事項へ(資料参照)

4. 普及教育事業部会(部会長-高橋，倉本)

- ・青少年音のための科学の祭典に，神戸信和会員が出展申請し採択されたが，体調不良のため取り止めとの報告があった。

地質学史アーカイブス委員会(会田信行委員長)

- ・下仁田自然学校での故今井名誉会員の資料の利用方法等を検討する。
- ・定年退官者などが所有した文献のアーカイブス化について検討する。

5. その他

JABEE 委員会(委員長 福澤仁之)

- ・第 7 回通常総会開催(6/15), 福澤出席予定

【以下，評議員会の下の委員会】

名誉会員推薦委員会(委員長 旧：加藤前副会長，新：伊藤副会長)

- ・名誉会員候補者追加推薦選考について
5 月 15 日に判明した名誉会員候補者の推薦選考漏れについては，旧委員会において推薦の可否を選考した結果，全委員から推薦に異議なしとの返答を得，評議員会へ追加推薦することとした。ただし，今年度の総会終了後であるので，今後の取り扱いについては，評議員会の判断をまつこととなる。

法務委員会（担当理事：委員長 上砂）

- ・理事が交代したが、それに伴い法務委員会も担当者を入れ替えるのか、現時点ではなにも動きがないので、この1年間も現在の体制で活動していく。

オンライン化委員会（委員長 斉藤 眞）

- ・オンラインでの年会参加申込登録システムを稼働開始。

審議事項

1. 名誉会員候補者推薦選考漏れの報告ならびに追加推薦，評議員会への手続き等について（資料参照）

四役会議から提案された以下の手順を承認し、即刻対応を開始することとした。

- ・新旧評議員会議長への常務理事からの説明を添えて、名誉会員推薦委員会の答申を付託する。
- ・評議員会の決定を受けて、今後の認証の進め方を理事会が相談を受け、実施法を決定する。
- ・今回の推薦漏れの経緯調査結果と、今後の対応策を理事会で作成確認し、上記と合わせて評議員会に報告する。

- ・これらの結果については、次回理事会に現評議員会議長から常務理事を通じて報告する。
- 2. 総会議事録、および理事会議事録の確認と保存について
 - ・今回の理事会議事録署名人は、大友、渡部とする。
 - ・総会議事録署名人については、次期総会から対応する。
- 3. 選挙管理委員会委員候補者の選出（5名）、8月中に第1回の管理委員会を開く必要があり、次の理事会までには確定したい。
 - ・前選挙管理委員会委員に再任を依頼する。
 - ・辞退者が出た場合、理事会で検討する。
- 4. 関連5学会を各々代表する Island Arc の編集委員会メンバーの変更提案
 - ・変更提案書を編集事務局から各学会に送付することとした。
- 5. 理事会、評議員会開催計画予定の確認
 - ・理事会：7月8日（土）12：00－17：00（於 東京大学）
8月 開催せず
9月9日（土）あるいは2日（土）
9月15日（金）13：00－14：00
 - ・評議員会：9月15日（金）14：00－17：00
- 6. 「日本地方地質誌」に準拠した英文巡検案内書出版に関する提案（中部支部提案）
 - ・石渡会員に提案内容について、高橋理事から問い合わせることとした。
- 7. その他
 - ・宮下情報特任理事より、「ネットワーク強化委員」設置の提案があり、新しい事業について意見交換した。
 - ・事務局の強化について、今後検討する必要があるとの原則的認識に基づき、今後の方針案を引き続き検討することとした。

以上

議事録署名人 渡部芳夫

大友幸子

